

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公表番号】特表2005-526016(P2005-526016A)

【公表日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2003-561581(P2003-561581)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/20 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 M 37/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 9/70

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 47/04

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 47/20

A 6 1 K 47/22

A 6 1 K 47/24

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/42

A 6 1 M 37/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月13日(2005.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項13】

37 での4週間の保存後に50%以上のDNAがそのスーパーコイル型の状態であるように、スーパーコイルプラスミドDNAが安定化されている、請求項12記載のDNA薬剤送達装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 4】

放出される際の単量体：二量体スーパーコイル型の比率が0.8～1.2の範囲内であるように、DNAが安定化されている、請求項 1 2 記載のDNA薬剤送達装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 3】

アジュバントがCpG、合成イミダゾキノリン、ツカレソール (tucaresol)、サイトカイン、MPL、QS21、QS7および水中油型エマルジョンから成る群より選択される、請求項 2 2 記載のDNA薬剤送達装置。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 7】

溶媒が工程の前に脱金属されている、請求項 2 4 記載のDNA薬剤送達装置の製造方法。